



全国的に暑い日が続いています。ここ平塚も8月には猛暑日（最高気温35℃以上）あり、真夏日（30℃以上）は連日です。

寺田縄からも夏の大きく発達した雷雲・入道雲・積乱雲（せきらんうん）を見ることができました。

写真は神奈川県より北に位置する地方の上空に発達した雲と思われます。



しばらくすると雲は形を変え、氷アイスを手で押さえたような形に変形しました。

雲は上昇できず、このような形になりました。「かなとこ雲」と呼ばれます。

「かなとこ」漢字では「金床」と書きます。金属加工に使う、赤く焼きこまれた鉄を、ハンマーで叩き鍛え成形するときの鋼鉄の台のことです。

表面が平らになっています。この道具を模した雲の呼び名です。（手工業的な命名ですね）

一万メートル位の上空に成層圏がありますが、雲の上昇はここ止まりになり、横に広がり写真のような姿になってゆきます。右下には積乱雲子供たちかな、群れています。

その後、雲は薄れ、日が落ち姿ははっきり捉えられませんでした。 束の間の天空ショーでした。